

科目	比較文化	単位数	2	学年	3	学級	ADHO 系列	学科	普通科 国際教養科
----	------	-----	---	----	---	----	------------	----	--------------

学習の到達目標	異文化理解を、広い視野で多角的に把握する。 日本の文化を理解することから、比較検討し、分析力を身につける。
使用教科書 副教材等	新版現代社会(実教出版)

学期	月	学習項目	学習内容の説明
前期	4	I 比較文化とは何か 1. 文化とは何か 2. 日本と諸地域との文化比較	本講座では、日本と欧米等諸地域との文化の違いを、特定の地域や具体例を通じて学習する。その基本概念と分析方法について学習する。
	5		
	6	II 宗教との文化を学ぶ 1. イスラム教とは何か 2. サウジアラビアの文化 3. アフガニスタンの文化 4. リビアの文化 5. ユダヤ教とキリスト教 6. パレスチナ問題と宗教の関係	日本と関連の深い地域として、サウジアラビアを取り上げ、様々な観点から日本との文化比較を行う。 (続き)
	7		
9			
後期	10	III 「食」の比較文化 1. 人は何を食べていたのか 2. 美味しい世界遺産	私たちの「食」から、いくつか具体的なものを取り上げ、その歴史や文化的背景について学習する。
	11		
	12	3. 日本人とアメリカ人は何を食べてきたのか (続き)	
1			
評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	様々な文化を比較、分析し、よりよい国際関係を保ち、人間としての在り方生き方について自覚を深めている。	
	思考・判断	様々な文化について、広い視野に立って、多角的、多面的に考察し、国際社会において的確に判断し、適応できる。	
	資料活用の技能・表現	様々な情報に適切に対応し、諸資料を主体的に選択し活用するとともに、それらの過程や結果を的確に表現することができる。	
	知識・理解	日本の文化を理解する中で、他地域・他民族の文化を比較し、理解する知識を身につけている。	
	評価方法	前・後期ともに、一回の考査の点数とレポート提出を基本に、出席状況・課題の提出状況などの平常点を加味して評価を行う。年間を通じての評価は、前・後期の平均とする。	
担当教諭から	文化の違いを具体的な例を挙げて、分析していきます。グループ研究や発表を取り入れ、興味を持てるような内容にしたいと考えています。		